# **Seeking Solace**

Hildur Elísa Jónsdóttir Tokyo Biennale 2023 09.23 - 11.05 《Seeking Solace》は、荘厳なアイスランド民謡に乗せて出演者に極めて私的な告白をしてもらうことで、職場というコミュニティー般における人間の本質的なテーマを探求する作品です。古代の響きをもつ厳かな民謡にのせて、どこか不安定で、極めて個人的かつ人間的な告白の合唱がなされます。その様子は、仕事の場で常に生じ得るインポスター症候群(自ら何かを成し遂げ、周囲からも高く評価されてなお、自分を過小評価してしまう傾向)と人々の心理状態を明らかにするでしょう。人工的な企業社会の中で、私たちはどのように他者とつながり、助け合い、つながりをつくっていけばいいのでしょうか。

#### 作品出演者:

伊藤洋子

楠本実海

黒木夏海

関口理紗

森山文央

#### ビデオグラファー:

橋口天姫子

#### 編集:

ヒルダー・エリサ・ヨンシュドッティル

#### 主催:

一般社団法人東京ビエンナーレ

#### 助成:

EU・ジャパンフェスト日本委員会

#### 協力:

株式会社東京ドーム

## **Dude, It's Exhausting!**

さくらのメロディーにのせて Tunga mín vertu treg ei á

"私の頭の中で常に何が起こっているのか、あなたにはわからないでしょう。疲れるよ!私の口から出てくるのは、全神経をフル回転させながら吐き出した排気ガスだ。"



## **Disappointment**

さくら、さくらのメロディーにのせて

"私は、自分の知らない人たちが実は完璧ではないことを知ったとき、変な台座に乗せていた人たちが深い欠点のある人間であることを知ったとき、対処できない。自分自身を失望に陥れてしまう。これは私自身の欠点であり、本当に悪い癖で、本当に改善しなければならない。"



## **Hehe Haha**

さくらのメロディーにのせて Hvað flýgur mér í hjarta blítt

"あのね、突然ね、人生がもう、へへ、はあはあという感じじゃなくて、むしろ深刻な感じなんです。自分の人生、いろいろやらなきゃいけないけど、怖い。私はまだ小さな赤ちゃんで、小さくてキョロキョロして、怖くて心配なんです。"









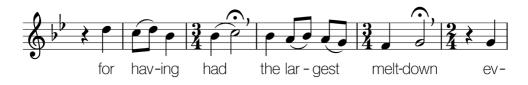
### **Public Service Announcement**

さくらのメロディーにのせて Drottins hægri hönd

"これは私の誇りと喜びを満たす公共サービスアナウンスです。光栄なことに、私は現在、これまでに書かれ演奏された中で最大のメルトダウンを起こしたという記録を保持しています。"











# A Tough Day

さくらのメロディーにのせて Ó, mín flaskan friða

"私はつらい一日を過ごしているが、その理由を明確に説明することができない。いろいろな意味で、私は自分のこの脳に囚われているからだ。"



